

## 「電車の中で」

井上裕太くん

ぼくは、学童で、東京に行きました。駅まで車で行きました。電車に乗りると席が空いていませんでした。ぼくは、立っていました。すると、知らないおじい

さん  
「すわっていいよ。」  
と言つてくれました。  
ぼくは、心中で『だいじょうぶですよ。』と思いました。でも、言えなくて、そこにすわりました。ぼくは、すわりながら、『何で言えなかつたんだろう。自分の心にあまい気持ちがあつたのかな。』と思いながら反せいしていました。

次の駅で、車いすに乗つたおばあさんが電車に乗つてきました。ぼくは『あまい気持ちをふつとばせ。』と思いました。ぼくは、「すわつていいですよ。」と言いました。そして、席から立ちました。そうしたら、おばあさんが、「ありがとう。親切に。」と言つてくれました。ぼくは、とてもいい気持ちになりました。

東京に着きました。ぼくは、『いいことをしてよかつたなあ。』と思いました。これからも、おじいさん、おばあさん、車いすに乗つている人、その他の人もふくめて、親切にしていきたいと思います。親切にすれば、ぜつたいうれしい言葉が返つてくると思っています。

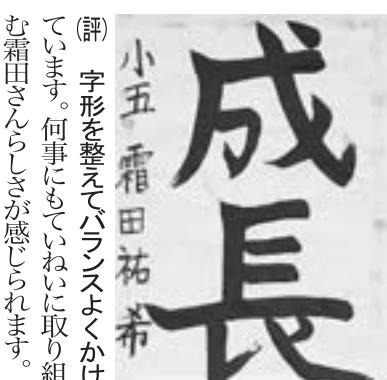
(評) 素敵な体験をしましたね。心の中での迷い、勇気ある行動、素直に書き表せましたね。

さんが、  
「すわつていいよ。」  
と言つてくれました。

霜田祐希さん

沢野来美さん

## 「きれいな歯」



(評) ほんきではみがきをしているようですが、とてもよくわかります。



新井琴美さん

## 浦山の 岩間彩る 紅つつじ

茂木志帆さん

(評) 荒々しい岩肌に力強く、しかも清楚に咲いた紅色のつつじ。存在感のあるその姿に作者の目はふと留まつたのだろう。視点が山から岩そして一点のつづじへと焦点化していくのは、カメラのレンズで被写体をとらえているようである。

